

自然美

これは、中央道の高架をくぐってから北中校門との中間程にあるワンカットです。車を運転している時には一瞬の光景で、さほど気にも留めていませんでした。

しかし、月曜から金曜まで毎朝、横断歩道までを行き来するようになると、この美しさに惹かれ、必ず目が行くようになりました。

燃えるような赤の背景に、鮮やかな緑、深い緑、そして暗紅色のようなコントラストが余計に燃えるような赤の紅葉を引き立てています。

2週間前には、まだ半分以上が黄緑で、この差では全てが紅葉するまでに半分近くが散ってしまうのではないかと思っていましたが、心配無用でした。

大きな枝を隠すように先端まで赤く染まる葉を付けた紅葉の木に魅了される日が続いています。

きっと皆さんの目にも映り、その美しさを感じたことがあると思います。目を留めて見ると、その感じ方が違ったものになりますよ。

先人が紅葉のことを詠った俳句は数多くあります。三句のみ選句しました。

大紅葉	燃え上がらんと	しつつあり	高浜	虚子
さまさまの	紅葉の山に	重なりて	星野	立子
ちる紅葉	ちらぬ紅葉は	まだ青し	正岡	子規

